

進化し続ける若手ピアニストに注目

●音楽の都ウィーンからの贈り物 in さいたま!

今日は午後2時半から4時半までさいたま市プラザイーストにて「第5回 音楽の都ウィーンからの贈り物」コンサート、シルヴィア・リーザー様、富田千種様、追川礼章様による素晴らしい演奏を楽しませていただきました。また、舞台には素晴らしい花も添えられ、富田様と同期の小室正人様(19回)の見事な演出も光っていました。



また、舞台には素晴らしい花も添えられ、富田様と同期の小室正人様(19回)の見事な演出も光っていました。



リーザー様と富田様の歌声はもちろん素晴らしいのですが、今回、光っていたのはピアノ伴奏を務められた**追川礼章様**(24歳、浦高64回卒)でした。

追川礼章 (Ayatoshi Oikawa)

1994年生まれ。埼玉県立浦和高等学校卒業後、東京藝術大学楽理科に進学。現在、同大学大学院ソルフェージュ科に在籍。2歳からヤマハ音楽教室で学び、6歳から作曲を始める。彩の国さいたまピアノコンクールC部門銀賞受賞。JOCシティコンサート in さいたま 2009にて自作曲『ピアノトリオ』と即興演奏で出演。これまでにピアノを中嶋信子、湯口美和、秦はるひ、坂井千春の各氏に、作曲を寺西誠氏に、ソルフェージュを照屋正樹、テシュネ・ローランの各氏に師事。現在は歌手の伴奏をメインに全国各地で演奏活動を行い、年間ステージは100を超える。室内楽ではこれまでにミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、ローレン

ツ・ナストゥリカ氏やNHK交響楽団のメンバーらと共演。合唱、ミュージカル、ポップス等様々な分野のアーティストと演奏活動を行うほか、TV、ラジオ、CD収録にも参加している。NHKラジオ第一《新日曜名作座》、BS-TBS《日本名曲アルバム》にピアニストとして多数出演。今年4月には、カワイ表参道コンサートサロンパウゼにて初のソロコンサートを開催。イタリアの著名指揮者ダンテ・マツォーラ氏から直接指導を受け、進化し続ける期待の若手ピアニスト。【チラシより引用】



富田様のコンサートではこれまでに5人のピアニストの方の伴奏・演奏を聴かせていただきましたが、時には情感たっぷりに、時には力強くとオペラを盛り立てる演奏に聴き惚れていました。



また、今回のステージでは同級生のやぎた晴様作詞、富田様作曲の「山模様」も初披露され、とても素敵な曲でした。